



上半期の注目調査テーマを、発表いたします！
2024年上半期 SVPリサーチテーマ・トップ10

2024年上半期は、能登半島地震の激震で明け、日経平均株価の回復基調を横目に、円安が進みました。急増するインバウンドは、旺盛な消費で日本経済を下支えすると同時に、各地で、オーバーツーリズムの問題を提起する事態となっています。海外では、侵攻から丸2年が経過し、先が見通せないウクライナ情勢をはじめ、米国の大統領選に関する報道が熱を帯びる中、AI向け半導体で独走するのNVIDIA社(米)の動向が注目を集めています。主な動向とSVPクイックリサーチテーマのトップ10を、発表いたします。

月	国内	海外
1月	1日：能登半島地震(M7.6)が発生 2日：羽田空港でJAL旅客機が海保機と衝突し炎上 11日：日経平均株価の終値が約34年ぶりに3.5万円台を回復 17日：訪日観光客の消費額(速報値)が過去最高の年間5兆円超え 20日：JAXAの無人探査機「SLIM」が世界5カ国目の月面着陸成功	12日：米英軍が、イエメンの武装組織「フーシ派」拠点に空爆 13日：台湾の新総統に頼清徳(らい・せいとく)氏が就任 16日：トランプ前大統領が、共和党の指名候補争いの初戦に勝利 19日：Amazon社(米)が、AI普及で日本向けに2.3兆円の新規投資 26日：Apple社(米)が、EUで外部アプリストア通じた配信を解禁
2月	6日：トヨタの時価総額が、日本企業初の50兆円突破 6日：物価上昇で、労働者1人あたりの実質賃金、2年連続で減少 17日：JAXAの新型ロケット「H3」、初の打ち上げ成功 22日：日経平均株価の終値が39,098円と、史上最高値を更新 27日：2023年の出生数、過去最低の75万人に減少	16日：OpenAI社(米)が動画生成AIサービス「Sora」を発表 21日：NVIDIA社(米)が直近四半期決算で、過去最高益を更新 22日：NYダウ平均株価(主要30社)が初の3万9,000ドル台突破 24日：ロシアのウクライナ侵攻から丸2年 26日：スウェーデンがNATOに、32カ国目となる正式加盟
3月	1日：NTT法改正案を閣議決定、NTT法の廃止も含めて検討 4日：日経平均株価の終値が初の4万円台突破 5日：新型コロナ治療薬の公費負担が3月末で終了 5日：自転車の交通違反に反則金導入へ、改正案を閣議決定 19日：日銀がマイナス金利政策を解除、17年ぶりに利上げ	5日：中国・全人代、経済成長目標は昨年同等の5%前後と発表 6日：トランプ前大統領の共和党指名獲得が、事実上確定 13日：欧州議会で世界初のAI規制法が可決、2026年にも施行 14日：Space X社(米)の大型宇宙船、宇宙空間に初到達 17日：ロシア、大統領の任期改憲で、プーチン大統領が再選
4月	1日：宮内庁が初のSNS利用、公式Instagramを開設 8日：東京都内(23区と一部エリア)でライドシェアが初の解禁 17日：NTT法改正案が成立、研究成果の開示義務を撤廃 26日：スマホソフトウェア競争促進法を閣議決定 29日：円相場、34年ぶりに1ドル＝160円台に急落した後、急反発	3日：台湾東部でM7.2の地震が発生 10日：Microsoft社(米)、生成AIで日本に約4,400億円を投資 15日：OpenAI社(米)がアジア初進出で、東京オフィスを開設 18日：Oracle社(米)が今後10年間で日本に1兆円超の投資を計画 25日：IEA、2023年の電力部門のバッテリー導入は前年比2倍以上
5月	4日：15歳未満のこどもの数が1,401万人と、43年連続の減少 8日：トヨタ、2023年度の営業利益が日本企業初の5兆円超え 14日：シャープ、テレビ用液晶パネルの生産から撤退 16日：東芝、最大4,000人の早期退職を募ると発表 17日：改正道路交通法が成立、自転車の交通違反に反則金を導入	4日：国連、世界の2024年実質GDP成長率を2.7%と上方修正 15日：欧州委員会、EUの2024年実質GDP成長率を1.0%と予測 15日：スロバキアのフィツォ首相が銃撃される 20日：イランのライシ大統領と外相、搭乗ヘリの墜落で死亡 21日：EU理事会、AI法案を採択、2026年中に全面適用開始
6月	3日：国内自動車メーカー等5社の検査不正が発覚 5日：子ども・子育て支援法改正案が成立、支援金制度創設へ 12日：スマホソフトウェア競争促進法が成立、巨大IT企業を規制へ 21日：成長型経済の実現に向けた、骨太方針2024を閣議決定 28日：円相場、37年半ぶりに、1ドル＝161円台28銭と安値を更新	6日：SpaceX社(米)の大型宇宙船、地球帰還に初成功 11日：Apple社(米)、Apple Intelligenceを発表、ChatGPT搭載へ 11日：世界銀行、2024年の世界の实質GDP伸び率は2.6%と予測 13～15日：G7プーリア(イタリア)・サミットが開催 18日：NVIDIA社(米)、時価総額がApple社を抜き世界1位へ浮上

※省庁発表資料、各種媒体記事等をもとにSVPジャパン作成。 ※IEA：国際エネルギー機関

上記トピックスや関連情報に関する調査をご希望の際は、クイックリサーチを承りますので、お申し付けください。



2024年上半期 SVPクイックリサーチテーマ・トップ10

順位	調査テーマ
1位	半導体および製造装置・材料市場と技術開発動向 生成AI向け半導体、次世代パワー半導体、および半導体製造装置・材料を含めた市場と開発動向に関する多数のご依頼をいただきました。7月初旬には、先端パッケージと呼ばれる後工程技術の開発・評価を目的とした日米10社による企業連合が設立されるなど、グローバルな企業連携や、主要国政府の財政支援の動きが活発化しています。
2位	ペロブスカイト太陽電池と部品・材料市場と技術動向 従来型のシリコン系太陽電池に比べて、薄くて折り曲げやすく、軽量化を図れることから、耐荷重の少ない屋根に設置できることに加え、窓や外壁に組み込む建材一体型の製品の開発が進んでいます。技術開発動向に加えて、設置・導入事例に関するお問い合わせをいただきました。
3位	生成AIのビジネス展開、サービス・導入事例と規制動向 総務省が7月5日に公表した「情報通信白書 令和6年版」によると、生成AIを業務に使用していると回答した企業の割合は、日本で46.8%でした。生成AIを活用したサービスや導入事例などの発表が相次ぐと同時に、EUの規制やApple社のスマホへの搭載などが、大きな関心を集め、様々な切り口のご依頼をいただきました。
4位	EV、次世代EV用電池・材料の市場と開発動向、企業の提携動向 7月にドイツ自動車産業連合会が、EVの生産見通しを下方修正したことに加え、3月には、米国でEVの普及目標が下方修正され、GM、Fordといった米国メーカーのEV生産ペースの減速など、ネガティブ要因が散見される中でも、EV本体、次世代車載用電池・材料の市場と開発動向、企業の提携動向に大きな注目が集まりました。
5位	各種リサイクルビジネスと技術開発動向 使用済太陽光パネル、廃プラスチック、使用済車載用リチウムイオン電池、廃タイヤ、廃コンクリート等のリサイクルに向け、処理・資源の回収といった技術開発が進んでいます。太陽光パネルは、2012年のFIT導入以降に普及が拡大し、製品寿命が25~30年と言われていることから、2040年頃の大量廃棄が懸念されています。脱炭素にも関わる、これらのビジネスと技術開発動向が関心を集めています。
6位	遺伝子治療・再生医療関連市場と技術動向
7位	カーボンニュートラル・脱炭素の取組と規制動向
8位	グリーンアンモニア・グリーン水素の市場とビジネス動向
9位	量子コンピュータの市場と技術開発動向
10位	機能性表示食品・健康食品・サプリメント関連市場動向

弊社サービスの詳細等につきましては、左下のボタンより、ご参照・お問い合わせいただければ幸いです。



1分でわかる

SVP会員制 ビジネス情報サービス

ANNIVERSARY
50th
SVP JAPAN

1.ビジネス情報収集における環境の変化

環境の変化が激しく、将来の予測が非常に困難な時代に入

変化①

社会環境の変化



- ✓戦争の勃発
- ✓新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)の流行
- ✓気候変動

変化②

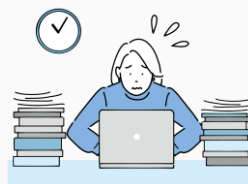
ビジネス環境の
変化



- ✓テクノロジーの進化
- ✓グローバル化
- ✓新世代の台頭
- ✓破壊的企業の躍進



組織的な課題に直面



2.企業が直面している3つの課題

これまで以上に、迅速で的確な情報収集・分析能力が求められています

1

幅広いビジネス 情報のアクセス

幅広い事象に関して、
スピーディーにアクセスできる
環境の整備



2

質の高い情報の獲得 (重要領域での質の担保)

信頼できる上質な
ビジネス情報を収集できる
環境の構築



3

成長が期待される 新市場の動向把握

事業機会の可能性がある全ての
市場や企業動向を認識する
ケイパビリティの有無

3.当社サービスが提供する価値



ビジネス情報に関する皆さまの課題を当社が解決いたします！

SVP会員サービス



解決① クイックリサーチ

I.

膨大なビジネス公開情報へアクセスし、スピーディーに最適な情報を提供

解決② プロジェクトリサーチ

II.

カスタム調査を通じて、質の高いビジネス情報と分析アウトプットを提供

解決③ SVPナレッジ

III.

当社が定義する、メガトレンドや注目市場の動向予測レポートを提供

年間契約で3つのサービスをご提供します



I. クイックリサーチ

活用シーン

- ・日々のリサーチ作業をアウトソースして、分析や戦略立案など付加価値業務に注力したい。
- ・ニーズに合ったビジネス情報を、スピーディーにわかりやすくまとめて提供して欲しい。

特徴

- ✓幅広いビジネス公開情報の活用
- ✓プロのリサーチャーによるニーズ把握と最大2時間の調査
- ✓わかりやすくまとめたレポートでご報告

納期 最短2日営業日以内

III. SVPナレッジ

活用シーン

- ・メガトレンドを中心とした、将来、事業に影響を与える環境要素は何か知りたい。
- ・①Z世代、②サステナビリティ、③テクノロジー、④新興国を含む海外市場、⑤破壊的企業の動向を把握したい。

内容

- ✓SVPメールマガジン
- ✓SVPインサイト
- ✓SVP注目市場分析
- ✓SVPTrend調査

配信頻度 月1回以上

II. プロジェクトリサーチ

活用シーン

- ・公開情報では公表されていない、市場や業界、企業、消費者の情報収集がしたい。
- ・自社の事業領域に関する、質が高く、ニーズに即した情報を入手して、ビジネスに即活用したい。

特徴

- ✓広範なカスタム調査・分析
- ✓デスクリサーチ
- ✓ヒアリング調査
- ✓Webアンケート調査

納期 調査内容に応じて決定

5.導入実績



年間調査実施数
約15,000件



商用DBシステム利用
20システム



国内外企業財務情報
4,000万社以上



SVPネットワーク
世界40カ国の広がり

日本の売上高トップ100社中7割の企業でのご利用実績
導入企業600社以上





—SVP JAPANのサービスについて—

2営業日以内に調査結果をご報告

クイックリサーチ

[詳しくはこちら](#)

カスタムメイドのリサーチサービス

プロジェクトリサーチ

[詳しくはこちら](#)



—各種お問い合わせ—

資料ダウンロード

[こちらをクリック](#)



お問い合わせ

[こちらをクリック](#)



s'il vous plaît
SVP JAPAN
株式会社SVPジャパン

まずはお電話でもお気軽にお問い合わせください。

TEL : 03-3249-0771

